

○ 私の体験発表(内田 ^{みつあき} 貢朗さんのよもやまばなし)

私は、昭和50年から保存療法を始め、昭和55年のとき透析が導入となり、今年で28年目となりました。私が透析導入以前の透析治療は、まだまだ歴史が浅く、現在のホローファイバー(中空糸)型のダイライザーではなく、キール型やゴルフ型といわれるものでした。これらは、透析能力が低く、透析時間は8～10時間位かかり、仕事をしている人は、夜、病院に来て、朝まで透析していたと聞きました。また、除水能力も低く、一日の飲水量は、牛乳瓶1本(180cc)に制限されていたそうです。以下3号で掲載。

私たちの努力で少しでも改善してもらえるようにがんばっています。皆さんも私たちの活動に参加、支援をお願いします。



初期キール型人工腎臓機

○ 第6回NPO名古屋市腎友会総会開催のお知らせ

第6回平成20年度NPO名古屋市腎友会総会の開催についてお知らせします。

日時:平成20年4月13日(日)

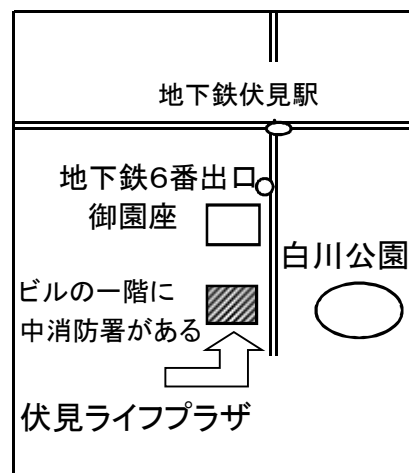
午前10時～12時まで

場所:名古屋市中区栄一丁目23-13

なごやボランティア・NPOセンター

(伏見ライフプラザ12F)

地下鉄伏見駅6番出口 南へ徒歩5分



○ 第26回移植セミナー開催のお知らせ

今回のセミナーは

①「腎移植最新情報」、②「移植者の体験談」、③「質疑応答」です。

腎移植に興味のある方の参加をお待ちしています。

主催:NPO日本移植者協議会 後援:NPO名古屋市腎友会

日時:平成20年4月13日(日)午後1時30分～午後4時(受付午後1時から)

場所:名古屋都市センター14階(金山総合駅南口)

参加費:無料・参加自由

問合せ先:日本移植者協議会東海支部 山本 登

電話 0567-65-1685 携帯電話 090-3954-7891